

2025年2月

各位

製造販売元 ヴィアトリス・ヘルスケア合同会社  
販売元 ヴィアトリス製薬合同会社カルベジロール錠 10mg「VTRS」  
供給に関するご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、持続性 高血圧・狭心症治療剤 慢性心不全治療剤 頻脈性心房細動治療剤 カルベジロール錠10mg「VTRS」につきまして、2023年12月より限定出荷を継続してまいりましたが、下記の理由から現有在庫が消尽次第、出荷を停止させていただき運びとなりました。

お手数ですが、下記に記載の代替製品等への変更をご検討いただきますようお願いいたします。

本件につきましては、多大なご迷惑をお掛けすることとなり、深くお詫び申し上げます。何卒諸事情ご賢察の上、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

謹白

## 記

## 【対象製品・包装】

製品名	包装	統一商品コード	GS1 コード (調剤包装単位)	出荷量の状況	製造販売業者の 対応状況
			GS1 コード (販売包装単位)		
カルベジロール錠 10mg 「VTRS」	100 錠 (PTP)	901048705	(01)04987901048798	C. 出荷停止	⑤供給停止
			(01)14987901048702		

※ 「C. 出荷停止」：市場に出荷していない状況

※カルベジロール錠 1.25mg・2.5mg・20mg「VTRS」につきましては、通常出荷を継続させていただきます

## 【出荷停止の理由】

2023年12月に限定出荷を開始し、医療現場への供給量が大きく下回る状況が発生いたしました。本製品の安定供給の再開に向け、検討を続けてまいりましたが、製造量回復の見込みが立たないことから、今回、弊社在庫消尽次第、「C：出荷停止」とさせて頂く事になりました。

## 【医療関係者様へのお願い】

甚だ勝手ではございますが、代替製品へのお切り替えをご検討いただけますようお願い申し上げます。

## 【代替製品・包装】

本製品の出荷停止に伴い、既にご案内の通り、取扱い開始予定であります辰巳化学株式会社が製造販売承認を取得しているカルベジロール錠 10mg「TCK」（製造販売元：辰巳化学株式会社、販売元：ヴィアトリス製薬合同会社）につきまして、2025年2月中旬以降に通常出荷での供給を開始いたします。

製品名	製造販売元/販売元	包装	統一商品コード	GS1 コード (調剤包装単位)
				GS1 コード (販売包装単位)
カルベジロール錠 10mg 「TCK」	製造販売元： 辰巳化学株式会社 販売元： ヴィアトリス製薬合同会社	100 錠 (PTP)	901134002	(01)04987124926712
				(01)14987901134009

以上

【製品供給に関するお問い合わせ先】 ヴィアトリス製薬合同会社 供給関連コールセンター  
フリーダイヤル0120-170-523 受付時間9:00-17:30(土日祝日・年末年始を除く)

【製品情報に関するお問い合わせ先】 ヴィアトリス製薬合同会社 メディカルインフォメーション部  
フリーダイヤル0120-419-043 受付時間9:00-17:30(土日祝日・年末年始・弊社休業日を除く)

【本案内文書の掲載先】 Viatris e Channel (<https://www.viatris-e-channel.com>)  
最新の「出荷量の状況」、「製造販売業者の対応状況」については、供給制限実施製品一覧表にてご確認いただけます  
<https://www.viatris-e-channel.com/viatris-products/di/other/>

製品名	カルベジロール錠10mg「VTRS」
包装	100錠 [10錠 (PTP) ×10]
効能又は効果	○本態性高血圧症 (軽症～中等症) ○腎実質性高血圧症 ○狭心症 ○次の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害薬、利尿薬、ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者 虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全 ○頻脈性心房細動
用法及び用量	〈本態性高血圧症 (軽症～中等症)、腎実質性高血圧症〉 カルベジロールとして、通常、成人1回10～20mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。  〈狭心症〉 カルベジロールとして、通常、成人1回20mgを1日1回経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。  〈虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全〉 カルベジロールとして、通常、成人1回1.25mg、1日2回食後経口投与から開始する。1回1.25mg、1日2回の用量に忍容性がある場合には、1週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し、忍容性がない場合は減量する。用量の増減は必ず段階的に行い、1回投与量は1.25mg、2.5mg、5mg又は10mgのいずれかとし、いずれの用量においても、1日2回食後経口投与とする。通常、維持量として1回2.5～10mgを1日2回食後経口投与する。なお、年齢、症状により、開始用量はさらに低用量としてもよい。また、患者の本剤に対する反応性により、維持量は適宜増減する。  〈頻脈性心房細動〉 カルベジロールとして、通常、成人1回5mgを1日1回経口投与から開始し、効果が不十分な場合には10mgを1日1回、20mgを1日1回へ段階的に増量する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、最大投与量は20mgを1日1回までとする。

※詳しい製品情報は電子添文をご確認ください